2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年８月10日

上場会社名　株式会社 大東銀行　　上場取引所　東
コード番号　8563　ＵＲＬ　https://www.daitobank.co.jp/
代表者　（役職名）取締役会長兼社長　（氏名）鈴木 孝雄
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経営部長　（氏名）本田 貴之　ＴＥＬ　024-925-3872

配当支払開始予定日　－　特定取引勘定設置の有無　無
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	4,635	23.9	926	11.4	653	2.3
2026年３月期第１四半期	3,741	13.7	832	9.2	638	15.5

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期　△507百万円（－%）　2026年３月期第１四半期　948百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	51.53	－
2026年３月期第１四半期	50.46	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	890,721	29,001	3.2
2026年３月期	870,980	30,034	3.3

（参考）自己資本　2027年３月期第１四半期　28,198百万円　2026年３月期　29,142百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	－	－	40.00	40.00
2027年３月期	－				
2027年３月期（予想）		－	－	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	1,100	△21.3	700	△27.7	55.23
通期	2,500	0.3	1,600	△4.8	126.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	12,701,462株	2026年３月期	12,701,462株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	28,535株	2026年３月期	28,246株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	12,673,075株	2026年３月期１Ｑ	12,653,218株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2

（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表 …… 3

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6

（セグメント情報等の注記） …… 6

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6

（継続企業の前提に関する注記） …… 6

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6

３．2026年度第１四半期決算説明資料（単体ベース）

（１）損益の状況 …… 7

（２）金融再生法開示債権の状況…… 8

（３）時価のある有価証券の評価差額…… 8

（４）自己資本比率（国内基準） …… 9

（５）預金、貸出金等の残高 …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間の経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の増加に伴う資金運用収益の増加などにより、前年同期比８億94百万円増加して46億35百万円となりました。

経常費用は、預金利息の増加に伴う資金調達費用の増加や、国債等債券売却損の増加に伴うその他業務費用の増加などにより、前年同期比７億99百万円増加して37億９百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比94百万円増加して９億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14百万円増加して６億53百万円となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末の総資産は8,907億円、純資産は290億円となりました。

また、主要勘定については、以下のとおりとなりました。

預金（譲渡性預金を含む）は、前年度末比197億円増加して8,508億円となりました。

貸出金は、前年度末比82億円増加して7,073億円となりました。

有価証券は、前年度末比26億円減少して1,175億円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想（連結及び個別）につきましては、第２四半期（累計）及び通期のいずれも当初予想（2026年５月15日公表）計数に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年６月30日）
資産の部		
現金預け金	34,323	51,071
有価証券	120,240	117,545
貸出金	699,033	707,320
リース債権及びリース投資資産	2,576	2,610
その他資産	6,493	3,711
有形固定資産	9,836	10,010
無形固定資産	612	586
退職給付に係る資産	498	501
繰延税金資産	43	66
支払承諾見返	400	358
貸倒引当金	△3,080	△3,060
資産の部合計	870,980	890,721
負債の部		
預金	771,236	791,781
譲渡性預金	59,846	59,043
借用金	100	100
その他負債	6,618	7,762
賞与引当金	195	51
退職給付に係る負債	869	859
睡眠預金払戻損失引当金	56	53
偶発損失引当金	158	170
繰延税金負債	439	514
再評価に係る繰延税金負債	1,025	1,025
支払承諾	400	358
負債の部合計	840,945	861,719
純資産の部		
資本金	14,743	14,743
資本剰余金	1,297	1,370
利益剰余金	26,909	27,055
自己株式	△16	△16
株主資本合計	42,934	43,153
その他有価証券評価差額金	△15,537	△16,698
土地再評価差額金	1,691	1,691
退職給付に係る調整累計額	53	51
その他の包括利益累計額合計	△13,792	△14,954
非支配株主持分	892	803
純資産の部合計	30,034	29,001
負債及び純資産の部合計	870,980	890,721

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
経常収益	3,741	4,635
資金運用収益	2,596	3,344
（うち貸出金利息）	2,176	2,596
（うち有価証券利息配当金）	380	682
役務取引等収益	607	677
その他業務収益	260	261
その他経常収益	277	353
経常費用	2,909	3,709
資金調達費用	365	686
（うち預金利息）	324	633
役務取引等費用	384	396
その他業務費用	293	652
営業経費	1,830	1,915
その他経常費用	35	58
経常利益	832	926
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税金等調整前四半期純利益	832	926
法人税、住民税及び事業税	105	230
法人税等調整額	85	41
法人税等合計	191	271
四半期純利益	640	655
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	638	653

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
四半期純利益	640	655
その他の包括利益	307	△1,162
その他有価証券評価差額金	306	△1,160
退職給付に係る調整額	1	△1
四半期包括利益	948	△507
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	946	△509
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行及び連結子会社２社で構成され、銀行業を中心に、リース事業、クレジットカード事業及び信用保証事業といった金融サービスに係る事業を行っております。

当行グループの報告セグメントは「銀行業務」のみであり、「その他」の重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当第１四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「銀行業務」及び「リース業務」の２区分から、「銀行業務」の単一セグメントに変更しております。この変更は、「リース業務」の重要性が乏しいことから、報告セグメントを単一セグメントとして開示することが、当行グループの事業実態及び意思決定プロセスをより適切に反映するものと判断したことによるものであります。これに伴い、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報について、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	121百万円	144百万円

３．2026年度第１四半期決算説明資料（単体ベース）

（１）損益の状況

経常収益は43億２百万円（前年同期比８億92百万円増加）、経常利益は９億６百万円（同　95百万円増益）、四半期純利益は６億41百万円（同　17百万円増益）と前年同期比増収増益の決算となりました。
また、通期の業績予想対比での進捗率は、経常利益で37.8%、純利益で40.1%と順調に推移しております。

（単位:百万円）

	No.	2026年度 第１四半期 （３か月間） （A）	2025年度 第１四半期 （３か月間） （B）	比較 （A）－（B）	〈予想値〉 2026年度 中間期 （６か月間）	〈予想値〉 2026年度 通期 （12か月間）
経常収益	1	4,302	3,409	892		
業務粗利益	2	2,447	2,318	128		
資金利益	3	2,656	2,229	427		
役務取引等利益	4	214	155	59		
その他業務利益	5	△423	△65	△358		
（うち国債等債券損益）	6	△423	△65	△358		
経費（除く臨時処理分）	7	1,831	1,744	87		
うち人件費	8	922	879	42		
うち物件費	9	767	744	22		
実質業務純益	10	615	574	41		
コア業務純益	11	1,039	640	399		
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	12	793	640	153		
①一般貸倒引当金繰入額	13	－	－	－		
業務純益	14	615	574	41		
臨時損益	15	291	237	54		
②不良債権処理額	16	23	17	5		
株式等関係損益	17	263	61	201		
その他臨時損益	18	51	193	△141		
③うち貸倒引当金戻入益等	19	17	63	△45		
経常利益	20	906	811	95	1,100	2,400
特別損益	21	△0	△0	△0		
税引前四半期純利益	22	906	811	95		
法人税、住民税及び事業税	23	201	102	98		
法人税等調整額	24	64	85	△21		
法人税等合計	25	265	188	77		
四半期(当期)純利益	26	641	623	17	700	1,600

与信関連費用　①＋②－③	27	5	△45	51

（２）金融再生法開示債権の状況

当四半期末の金融再生法ベースのカテゴリーによる開示債権額は、前期末比７億円増加して283億円、開示債権比率は同0.06ポイント上昇して3.98％となりました。

（単位：億円）

	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	60	4	1	56	59
危険債権	223	3	17	219	205
要管理債権	0	△0	△9	0	9
合　　計	283	7	10	275	273
開示債権比率	3.98％	0.06％	△0.07％	3.92％	4.05％

（注）記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

（３）時価のある有価証券の評価差額

当四半期末のその他有価証券の評価差額は、155億円の評価損となりました。

（単位：億円）　（参考）　（単位：億円）

	2026年６月末				2026年３月末				2025年６月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	1,165	△155	40	195	1,192	△144	39	183	1,269	△105	20	125
株式	75	39	39	0	73	36	36	0	49	16	17	0
債券	1,032	△186	－	186	1,056	△174	－	174	1,106	△112	0	112
その他	58	△8	0	8	62	△6	2	8	114	△9	3	12

（注）各四半期末の「評価差額」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

（４）自己資本比率（国内基準）

当四半期末の自己資本比率は、連結で前期末比0.21ポイント上昇して11.23％、単体で同0.20ポイント上昇して10.98％となりました。

（単位：百万円）

	【連結】				
	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
（１）自己資本比率（（４）／（５））	11.23％	0.21％	△0.17％	11.02％	11.40％
（２）コア資本に係る基礎項目の額	43,409	718	1,323	42,691	42,086
（イ）うち、普通株式に係る株主資本の額	43,153	726	1,275	42,427	41,878
（ロ）うち、その他の包括利益累計額	51	△1	96	53	△44
（ハ）うち、一般貸倒引当金	203	△6	△49	210	253
（３）コア資本に係る調整項目の額	752	△16	47	769	704
（４）自己資本の額（（２）－（３））	42,656	734	1,275	41,921	41,381
（５）リスク・アセット等の額の合計額	379,696	△594	16,888	380,290	362,807
（６）総所要自己資本額（（５）×４％）	15,187	△23	675	15,211	14,512

（単位：百万円）

	【単体】				
	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
（１）自己資本比率（（４）／（５））	10.98％	0.20％	△0.20％	10.78％	11.18％
（２）コア資本に係る基礎項目の額	41,852	634	1,123	41,217	40,728
（イ）うち、普通株式に係る株主資本の額	41,663	641	1,168	41,022	40,495
（ロ）うち、一般貸倒引当金	188	△6	△44	195	233
（３）コア資本に係る調整項目の額	754	△16	26	771	728
（４）自己資本の額（（２）－（３））	41,097	650	1,097	40,446	40,000
（５）リスク・アセット等の額の合計額	374,131	△757	16,654	374,889	357,477
（６）総所要自己資本額（（５）×４％）	14,965	△30	666	14,995	14,299

（５）預金、貸出金等の残高

預金（譲渡性預金を含む）は、主に公金預金及び個人預金が増加したことから、前期末比196億円増加して8,517億円となりました。また、総預金＋預り資産残高は、前期末比353億円増加して1兆67億円となり、当行として初めて１兆円に到達しました。

貸出金は、地公体及び個人向け貸出が増加したことから、前期末比82億円増加して7,083億円となり過去最高を更新しました。

① 預金残高（末残）

（単位：億円）

	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
預　金(譲渡性預金を含む)	8,517	196	304	8,321	8,213
うち個人預金	5,836	84	289	5,752	5,547

② 預り資産残高

（単位：億円）

	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
預り資産合計	1,550	157	204	1,392	1,346
投資信託	919	155	219	763	699
公共債	78	8	15	69	63
個人保険	552	△7	△31	559	583

（参考）
総預金残高（末残）＋預り資産残高

（単位：億円）

	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
総預金＋預り資産	10,067	353	508	9,713	9,559

③ 中小企業等貸出金比率

（単位：億円）

	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
貸出金	7,083	82	366	7,000	6,717
うち中小企業等貸出金	4,967	△31	79	4,999	4,888
中小企業等貸出金比率（%）	70.12	△1.29	△2.65	71.41	72.77

④ 個人ローン残高

（単位：億円）

	2026年６月末			2026年３月末	2025年６月末
		2026年３月末比	2025年６月末比		
合計	3,040	25	138	3,015	2,902
うち住宅ローン	2,870	26	140	2,843	2,729
うち消費者ローン	170	△1	△1	171	172

以　上